



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel (186-)0595-53-1077



[2006/12/09 発行 編集担当: 森田耕太郎]

今年は芸術の秋を制作三昧で楽しもうと、精力的に「木工芸/木工旋盤」、「漆芸/拭き漆」の実技講習会や「粘土カフェ」の活動をおこなっているうちに、早いもので、もう師走を迎え、2006年度の活動もほぼ4分の3を過ぎるころとなりました。2度目の穴窯焼成に向けて、薪置き場の設置や薪割りをボランティアの学生さん達の協力も得て、準備も着々と進んでいます。

今号は第2回、第3回実技講習会と「粘土カフェ」の活動報告や来年2月の「研修旅行」の案内などをお届けします。

第2、3回実技講習会「木工芸/木工旋盤」「漆芸/拭き漆」充実していました！

★ 本年度、第2回の実技講習会は伊賀市種生に新しくできた「ハーモニーフォレスト」を会場に「木工旋盤」の講習を行いました。岐阜県美濃市から講師の山口博史氏をお迎えし、私(田井)もサポートに入って10名の参加者が旋盤に挑戦です。参加者のほとんどが初めての体験ということで、まずは丁寧な説明とデモンストレーションが行われ、その後、一人一台の旋盤を使用して木の器づくりがスタートしました。最初は、皆さんかなり緊張した面持ちでしたが、シュルシュルと削れる様子に、次第に集中し、「ハマられている」感じでした。中には、作品が飛んで縁が欠けたり、削りすぎて穴が開いてしまうというアクシデントもありましたが、時間内に修正、削り直しをして、全員の方が1点以上の作品を完成！ あっという間の2日間でしたが、最後には、簡単な作品の発表会も行い、和やかなムードの中、無事終了しました。道具や材料の準備・運搬に始まり、山口氏には本当にお世話になり、ありがとうございました。また参加者の皆さまもお疲れ様でした。

(第2回実技講習会担当: 田井佳子)



(説明・デモンストレーション)



(制作の様子)



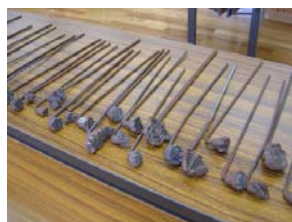
(できあがった作品)

★ 10月の木工旋盤に続いて、11月には第3回の実技講習会として「拭き漆」を行いました。会場は前回と同じく、ハーモニーフォレストです。講師は石川県小松市で「沢幸漆店」を営まれている沢田欣也氏。漆の販売はもとより、漆塗りの職人として、また作家として、漆の普及のために多彩な活動をされている方です。今回は板皿(伊賀市青山産の杉)や、お箸、あと各自が持参した様々な材料に、サンドペーパー等での仕上げや焼き印を使った模様つけをした後、2日にわたって漆を2回塗りました。2日目の昼食後は、スライドレクチャーにより、沢田氏の中国での漆研究や漆にまつわる様々な仕事を紹介して頂きました。講師の沢田氏のお人柄もあり、終始、和やかな雰囲気で行進することができました。塗りあがった作品は乾燥期間を含め、1週間後に参加者の元に無事発送されました。講師の沢田さんには本当に遠路はるばるご苦労様でした。

(第3回実技講習会担当: 田井佳子)



(道具[刷毛]制作中)



(たくさんの種類の焼印)



(漆乾燥中[温度と湿度が必要])



(作業風景)

「粘土カフェ」穴窯焼成のイベントが始まりました

★ 9月中に穴窯焼成に関する内容と日程を決め、事務局員の石津さんの協力を得て、**チラシを作成**。10月1日に会員と、昨年の穴窯作り及び今年のおカリナ実技講習会などの参加者を始め、近畿圏の文化施設・ギャラリーなどに**チラシを発送**しました。また、事務局員がそれぞれ直接足を運んで、チラシを置かせてもらった所も何箇所かあります。問合せや応募が届き始めています。

★ 9月10日、10月7日、「粘土カフェ」の例会を持ち、**作陶をしながら、薪棚作りを計画**しました。

★ 10月28日、赤松が切り出されたという連絡を受け、量や現状確認のため、夏以来再び赤松林に行きました。伊賀市教育委員会青山分室の澤田之伸さんのご尽力と、伊賀市産業課・森林組合のご理解ご協力で、すでに赤松は切断され道路脇に積まれていました。11月6日、1トン余りの赤松を立田さん澤田さんの軽トラでアトリエに運搬して頂きました。作業が平日で、「粘土カフェ」からの動員が少なく大変苦勞をしました。それと前後して、立田さん設計の薪棚の設置と斜面の草刈り・土落としをしました。これらの作業には、京都造形芸術大学の学生ボランティアさん達が一生懸命に活躍してくれました。

★ 11月12日、18・19日、26日予定通り雨の中でも**薪割りを実施**。一般参加者2名も含め学生ボランティアさんと「粘土カフェ」メンバーが汗を流しました。傾斜地には石積みが表れ、そこに横幅約10メートルの薪棚ができ、着々と赤松の束が積み上げられています。

★ 今後の予定。12月初めに約4トンの赤松を入手する手配をしています。追加の薪割りが必要となりますので、「粘土カフェ」のメンバーはもとより、それ以外の会員のご協力もお持ちしております。12月17日(日)追加の薪割り実施予定です。

(陶芸自主活動グループ「粘土カフェ」代表: 田上早百合)

アートアイランド直島で遊ぼう (研修旅行のお誘い)

今年度の研修旅行先が、香川県の直島に決定しました。岡山県宇野港より船で20分の島で、ホテルや安藤忠雄氏設計の「地中美術館」などからなる複合施設の「ベネッセアートサイト直島」が整備されています。古民家をまるごとアートに変身させた「家プロジェクト」の見学も予定しています。今回は、大阪上本町より参加者全員が貸切りバスに乗り込み、楽しい旅行となるように計画しています。費用は交通費・宿泊費込みで約27,000円の予定です。日程は2007年2月17日～18日の一泊二日。会員の皆さん、ご家族や友人の方もお問い合わせの上、ぜひ、お気軽にご参加ください。多数の方のご参加をお待ちしております。

(研修旅行係: 蒔田邦子)

法人関係の作家が大活躍！ 嬉しいニュースの紹介です

本法人賛助会員で「Artist in Residence at IGA 2003」参加作家の井上直さんが岐阜県土岐市で開催された「第4回ユーモア陶彫展」で見事「大賞」を受賞されました。また、同じく「Artist in Residence at IGA 2004」参加作家の外磯秀紹さんが神戸空港彫刻コンクールで「大賞」を受賞されました。今秋には設置予定だそうです。また、遅れていました青山支所前への作品設置も近日中とのこと。その他、前号から18号発行までの間に、AiR2004参加作家の池田丈一さんと外磯秀紹さんが神戸と京都で個展を開催、会員では山田実穂さんが東京で個展開催、小西乱土さんが「美浜美術展」に入選、松原一彦さんと森田が「日韓現代美術同行展」に出品など、芸術三昧の秋でした。なお、現在、会員の安藤康行さんが池田市の画廊で個展を開催中です。



(写真は井上直さんの「大賞」受賞作品)

会費納入のお願い・皆様のご意見お待ちしております

● 継続会員の方の中でまだ入金されていない方は、恐縮ではございますが、2006年度の会費の入金をお願いします。本年度の活動も残り、あと僅かとなって参りました。決算も近づいておりますので、ご協力をお願い致します。

郵便口座: 00890-1-106346 NPO アーツ プラネット プラン フローム イガ

● 法人のホームページです。ご覧ください。あわせて掲載記事、ご意見、ご感想、ご質問などをお寄せください。

アドレス: <http://www.appfi.org> Eメール: contact@appfi.org